

平成18年12月発行

# 東京滝川会だより

## 第45号

<事務局>滝川市大町1丁目2番15号  
滝川市経済部商工労働課

TEL 0125-23-2716 FAX 0125-23-5839

E-mail kougyou@city.takikawa.hokkaido.jp

URL http://www.city.takikawa.hokkaido.jp

### 東京滝川会総会開催

東京滝川会の総会を10月14日アルカディア市ヶ谷で開催いたしました。総会には、55名の会員、来賓の皆様が出席され、冒頭、東京滝川会会員であり、名誉市民でもあった故黒柳朝様のご冥福を祈念し黙祷を捧げた後、平成17年度の事業報告・決算報告及び平成18年度事業計画(案)・予算(案)の一括説明が行われ、ともに承認されました。



大川会長より挨拶

懇親会では、大川会長が「会員相互の親睦交流を図ることはもちろんのこと、ふるさと滝川の繁栄に寄与することを目標に活動したい。」とあいさつ。高宮名誉会長が「変わらない郷土を愛する気持ちを大事に会を運営してもらいたい。」とあいさつ。来賓の田村滝川市長は、今回の教育委員会

の件でのおわびと、「会の皆様からの応援を受けて、一生懸命市政に取り組んでいきます。」と述べ、前川北海道東京事務所長の祝辞の後、山腰滝川市議会議長の乾杯のあいさつにより、なごやかに懇親会が始まりました。



懇談会

懇親会のテーブルには、金滴酒造の100年記念酒のほか、試食・試飲用として、蜂矢果樹園のりんご(つがる)、りんごジュース「氷雪乙女」、手づくりの家とまとのトマトジュース、りんごジュース、高見養蜂場のはちみつ3種(アカシア・菜の花・そば)、食と農の女性の会のはるゆたか食パン、フォレストのジャム5種(きたあかり、トマト、小豆、黒豆、南瓜)、クレストの手作りクリームチーズ、南瓜チーズケーキ、楽楽食品の杏仁豆腐、豆乳など地元の特産を並べ、皆様ふるさとの味を堪能されていきました。

また、懇親会では、大川会長の唄と杉井千恵さんの三味線による瀬戸川信子さんの小唄振りの披露や蛸原弘さん、清水昇さんのスピーチ、松本守さんによる「そらぶちキッズキャンプ」(滝川市の丸加高原に開設を予定している難病の子どもたちのために特別に配慮されたキャンプ場)の活動報告がありました。続いて秋の味覚セツト、道の駅たきかわセツト、りんご・プルーンセツトなどの景品が当たるビンゴゲームが行われ、盛会のうちに終了しました。



小唄振りの披露

最後に玉置副会長による結びのあいさつで閉会となり、残念ながらビンゴゲームで当たらなかつた方々に、ビンゴ参加賞として大澤製麺のはるゆたかラーメンセツトやサルタセカンドのお菓子詰め合わせなどから1品をお持ち帰りいただき、ご希望の方にりんごジュース、りんご、食パンなどをお土産としてお渡ししました。

# ジューギスカンで交流会

～会員交流会

新規会員入会キャンペーン実施

10月8日と9日の2日間、代々木公園B地区において開催された北海道フェア2006に(株)マツオが出席していることから、初めて会員交流会と新規入会キャンペーンを実施しました。



家族で参加された阿部秀男さん

当日は、天候にも恵まれ大川会長、増田副会長をはじめ27名の会員及び家族、友人など95名の方々にご参加いただき、ジューギスカンを通して会員同士の交流、親睦を深めました。また、滝川出身者や滝川にゆかりの方々をご紹介いただき、入会のお誘いをいたしました。

会場にはテレビのお笑い番組に出演している若手芸人の「ジャガーズ」(大沼千

文さん(会員)、大沼智浩さん)も出席され、出演番組のPRをされるなど、楽しい雰囲気の中で交流会を開催いたしました。(東京代々木公園にて事務局長瀬参加)



ジャガーズのお二人

## 東京でがんばる宮原さん

～会員の宮原 紗矢香さんにインタビューしました。～

ご出身と滝川との関わりについてお聞かせください。

小学校6年から24歳まで住んでいました。

江陵中学校、滝川西高校を卒業し、末廣屋電機1年、第一興産5年勤務後退職し、上京しました。

現在のお仕事について

ITのソフトウェアを開発しているのと、自分がいる部署はwebで名刺を発注

するシステムを運用・開発しているところで、会社の総務担当の方へのカスタマーサポートと営業事務をしています。

滝川での思い出をお聞かせください

中学のときにジュニア大使として海外へ行ったことや高校1・2年のときにじぶき祭りに参加したことが印象に残っています。また、FM Gskyができたばかりの頃に友人が番組をやっていて1度ゲストに出たことがあります。ゴルフの打ちっぱなしにも行きました。



仕事も趣味も積極的な宮原さん

仕事以外のご趣味は?

サントリーの1万人の第九に参加するため昨日レッスンに行っていました。読書、演劇・映画・ライブ鑑賞も好きで、今、アカペラのコーラスグループにも参加したり、ライブハウスで歌ったりしています。

東京で暮らしてみても思う滝川の長所・短所は?

短所は、お店が閉まるのが早いところや、バイパスができてから、駅前がさびしくなったのがすごく残念です。また、若い人の遊ぶ場所が少なく、集まる場所が限られていたように思います。

長所は、共通の知り合いが多くて、話がわかりやすいところや友人の両親とも親しくなったり家族ぐるみの付き合いができるところがいいところだと思います。

東京滝川会について

若い人がもう少し気軽に集まることのできる交流会のような場があったり、滝川東京それぞれに住んでいる人の情報の交換ができるようになればいいと思います。会費については、郵便局以外に支払える場所を増やしたり、郵便局や銀行に行くよりもコンビニエンスストアのATMを利用することが多いので、コンビニエンスストアで支払えるようになったら便利だと思います。あと、上京の際どこに住んだらいいかわからなかったとき友人を頼るのにも限界があるので、滝川にいるときにこの会のことを知っていれば状況の際に心強かったので、滝川に在住している人にこの会を周知することも必要なのではないかと思えます。

(東京アルカディア市ヶ谷にて事務局田村取材)

# 増田さん滝川を想う

「東京滝川会副会長にご就任いただいた増田 聡允さんに滝川での思い出などをお聞きしました。」

「ご出身と滝川との関わりについてお聞かせください」

昭和8年、江部乙町市街地で長男として生まれ、弟2人妹1人は現在東京です。北辰小学校に入学しましたが、教師の父久一が東陽小学校校長に異動のため4年生の時に転校。終戦の翌年、昭和21年に旧制滝川中学に入学。翌年学制改革により併置中学になり、そのまま道立旧滝川高校に進む。高2で男女共学になり校名が道立滝川西高校に改まりました。実は、正式に男女共学になる前年の高1の時、滝川女子高から滝川高校に榎田玲子さんが高3に編入学してきました。わが校は並み居る多くの道立高校に魁ること1年早く紅一点の男女共学校となった。

滝川高校卒業後についてお聞かせください

小樽商科大学に入学。就職難の当時は、就職率100%ということで人気が高く、定員120名に競争率が20倍程と地元各紙に載りました。

滝川からは商大に10名が進学。当時同

級生は小樽の潮陵高と桜陽高の出身者が多く、次いで滝川出身者が占めていました。寮生活でしたが未だ旧制高校的雰囲気の色濃く残り人間関係はとても良い快適な生活でしたが、唯一食糧事情は最低でひもじい毎日でした。(経済学科。ゼミは金融経済、国際金融。)大学1年の時、父が急逝しましたが4年間商大で教授はじめ諸先生からいただいた数々の心遣いは忘れることができません。



増田聡允さん 思い出を語る

現在のお仕事についてお聞かせください

大学卒業は昭和31年で就職難の年でしたが、幸い三菱銀行に就職することができました。入行2年目に実施された英語行内選抜試験に偶々受験者中トップで合格し、日米会話学院に6ヶ月委託学生として派遣されました。

入行後は、主に外国為替、国際金融部門に携わり、最後は国際本部大阪外国事務セ

ンター長を務めました。銀行生活30年。退職後は(株)伊勢丹、代々木ゼミナールにお世話になり、現在はバベル翻訳大学院講師をしています。

滝川での思い出はなんですか

小学校に入ると同級生宅のリング園によく遊びに行つて、帰りにお姉さん達に自転車で送ってもらったこと。4年生になると新しい自転車を買ってもらえ、4キロ四方を走り回っていたのであちこちで「としぶちゃん」と声をかけていただきましたね。心優しい人達の住む町でした。小学校5、6年の頃は戦争中で滝川中学や北大の予科生がりんごの袋かけや援農などに泊り込みで勤労動員で来ていたので、休みの日に小学校校庭の芝生で遊んでくれました。特に北大予科生は弊衣破帽姿で、初めて乗馬を覚えてくれたりちよっぴりストームにも加えてくれたりしました。その後

汽車通で滝川中学に通いましたが多くの学生が高い志を持って同じように汽車やバスで遠くから通学していました。あの坂の古い校舎での6年間は思い出が多すぎて話は尽きません。

お仕事以外の趣味は

1に読書、2にスキー、最近は3に旅行と言っています。人生は旅。特にヨーロッパが多く、好きです。ほとんど出張ですが、

滝川市のまちづくり及び産業振興にご意見をいただきたいのですか

十数年前、幼友達の大崎俊逸兄が東京ドームで開催した北海道物産展に上京し孤軍奮闘していた。今後も滝川の産物売り込むことで滝川の名を広めていきたい。何を売り込むか、昔多かつたリング園はなくなりといったものはない。しかし、松尾ジーンズカンは恰好のセールズ材料が。聞くところによると、江部乙の企業が丸加高原で羊の飼育を始めたとのこと。がんばってほしい。

最近の教育問題に一言。思うに家庭のしつけ、親子の対話が欠けている。親の背を見て育つという雰囲気はほしい。滝川と江部乙はともに屯田兵が開拓したまち。今こそ、新渡戸稲造の著書「武士道」の精神に立ち返り、是非とも「思いやり」と「品格」を取り戻してほしい。

最後に東京滝川会について

「ふるさと滝川」を思う気持ちを共有する仲間の会。滝川一の坂同窓会は滝川中学同窓会から発展した会。どちらも若い人たちの入会が少ないのは問題。一の坂同窓会では若い人を幹事にするなど試みたが滝川会でも若い人を幹事にしてみてはいかがか。

一の坂同窓会は会員数が1,200人くらいで

すかね。滝川会は40人くらい。ダブっている方が相当数いますし、将来的には統合を視野に入れてもいいのでは。ふるさとを思う気持ちに若いも年寄りも関係なく一緒に楽しめる会にしていきたい。

(東京吉祥寺にて事務局五十嵐取材)

## 滝川に理想郷を

「東京滝川会会員であり常盤化学工業(株)代表取締役 平澤 民義さんが滝川駅近くに多機能高齢者マンションを建設するという記事が新聞に掲載されました。」

なぜ滝川市なのでしょうか？

滝川は地域的にいい場所。本州の人が北海道に来るのは一番いい所だと思います。旭川、札幌よりも血が通ったマチと感じました。滝川はちょうど良い人肌を感じます。計画ではどのようなマンションになるのでしょうか？



熱意溢れる平澤民義さん

残された時間を自由に過ごせる場所です。公的資金に頼らず、自分が好きなように取り組みたい。一番大切なのは、自分の親を入れたいと思える施設でなければなりません。自分が田舎に戻ろうと感じた時、年を重ねていきたいと思える建物、理想郷を実現させたい。ともに遊べる人がいたら、ともに時間をすごしたいですね。

さまざまな施設がありますが、私は例えば年金程度の範囲で感性のある優しい人たちと一緒に年をとり、併設されるカラオケスナックで歌い、旅をするイメージを持っています。

営利目的だけでは決して得られない何かを、入居者全員で作りに上げ、ここを最後の棲家にしてもらいたいと思っています。生活するだけでなく、集会的な機能を持ったマンションですか？

マンションでは食事も提供します。東京からも北海道が大好きなシェフも夫婦でこの計画に参加したいと、滝川への永住を決め込んでいます。夜には予約制のレストランとして開放したい。1階にはレストラン、健康管理室、運動できるスペースを備え、家族の方が泊まるスペースも作りたいたい。このほかにスナックも作ってみたいかなど。大きなお風呂や岩盤浴も行いたい。手軽な価格で地域の方にも利用していた

だきたいですね。

スケジュールはどのようになっていますか？

来年9月ごろに建物の完成、10月から入居開始できれば、と思っています。36室880坪を想定しています。名称は「北のユートピア M&B(寿泉)」

こういう5万人前後の都市は、行政と市民との協力次第では、旭川や札幌よりも活性化しやすい規模です。是非お金のない時代を協力し合うボランティア滝川にしてがんばり貫きたいものです。

(プレス空知平成18年10月25日付 第2405号より抜粋)

### 大川 浩

滝高卒 一期

神奈川県平塚市田村一 一〇 五四一  
TEL 〇四六三 五五 五二七一

毎日新聞社  
特別顧問 **玉置 和宏**

滝高卒 三期  
東京都千代田区一ツ橋一 一一

### 増田 聰 允

滝川西高卒 二期

東京都武蔵野市八幡町三 五九  
TEL 〇四二二 三七 六二六一

### 参与 前 郁 夫

滝高卒 二期

(社)日本クレイン協会  
東京都小平市花小金井五 一一二

### 院長 溝 口 勲

滝川中学卒 二十五期

千葉県松戸市松戸二〇九〇番地  
TEL 〇四七 三六七 〇三〇〇

### 菅 原 務

滝川工業高卒 三期

埼玉県所沢市星の宮一 七九  
TEL 〇四 二九二四 二八九七